

# 本県の生活習慣病に係る現状と課題

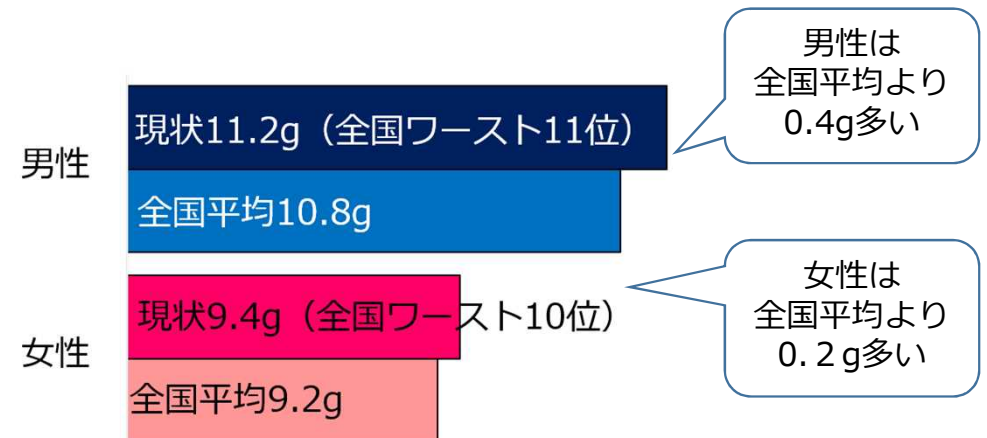
## 【健康課題】

茨城県民は生活習慣病による死亡率が全国に比べて高く、その要因の一つである塩分摂取量も全国平均より多い。

### 【年齢調整死亡率の全国比較（平成27年）人口10万対】

疾患名	男性		女性	
	( )内は全国値	全国順位	( )内は全国値	全国順位
脳血管疾患	46.0 (37.8)	ワースト 6位	24.9 (21.0)	ワースト 10位
(うち 脳梗塞)	21.5 (18.1)	ワースト 9位	11.4 (9.3)	ワースト 10位
心疾患	66.0 (65.4)	20位	37.3 (34.2)	14位
(うち 急性心筋梗塞)	23.8 (16.2)	ワースト 6位	9.4 (6.1)	ワースト 5位
糖尿病	6.6 (5.5)	ワースト 8位	3.2 (2.5)	ワースト 5位

### 【成人1日あたりの塩分摂取量の比較】



平成28年国民健康・栄養調査

健康長寿日本一を目指すためには、県民の塩分摂取量を減らす取り組みを推進する必要がある。

# 「いばらき<sup>おい</sup>美味しおDay」（減塩の日）を11月20日にスタート

## 「いばらき<sup>おい</sup>美味しおDay」（減塩の日）のスタート

○ 県民の生活習慣病予防のため、減塩への意識啓発を目的に毎月20日を

「いばらき<sup>おい</sup>美味しおDay」（減塩の日）として定め、11月20日からスタートします。



毎月20日を「いばらき<sup>おい</sup>美味しおDay」（減塩の日）として制定

→20 = 40（しお）×1/2（半分）の語呂合わせ。

### <減塩の日に併せた企業と連携した普及啓発（予定）>

- ・ 県内のスーパー（イオン水戸内原店，県内コープ各店等）に減塩商品特設コーナーの設置や減塩商品のポップ等を表示
  - ※ 今後他の県内スーパーへも連携を依頼予定
- ・ 減塩の日に併せたスーパーのチラシ等による広報及び減塩商品の販売促進
- ・ 県内スーパーや公共機関等における減塩の日のポスター・チラシの掲示
- ・ 県庁食堂カフェテリアひばりにおける減塩メニューの提供



# おい いばらき美味しお スタイル指定店

【保健福祉部健康・地域ケア推進課】

## おい いばらき美味しお スタイル指定店

### 【指定基準】

- ① 塩分3g以下の献立（<sup>てきえん</sup>適塩メニュー）が1品以上あること。
- ② 食材の一部に県産品を使用していること。

11月6日募集開始

## プラチナ店

より積極的な取組が行われている店舗をプラチナ店として指定



### 【プラチナ店の基準】

	適塩、野菜たっぷり、カロリー控えめのいずれかの条件を満たすメニュー
飲食店	5品以上(うち適塩メニューは3品以上必須)
弁当店、宅配、スーパー	10品以上(うち適塩メニューは5品以上必須)

※ 野菜たっぷり：150g以上， カロリー控えめ：600kcal以下

### ○ 指定店募集連絡先

【申請相談・受付（県委託業者）】

いばらき美味しおスタイル指定店事務局（(株)日宣メディックス内）

電話：0120-397-004

【県担当課】

茨城県保健福祉部健康・地域ケア推進課

電話：029-301-3229

### ○ 申請案内（申請書のダウンロードはこちら）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chiiki/kenko/oishio.html>



茨ひより（茨城県公認Vtuber）